

5

グランドデザインと地域別整備方針

各地域の均衡ある発展を図るとともに、地域資源と特色を活かしたまちづくりを推進し、連携と相互補完により新市全体の活性化を目指します。また、それぞれの地域が抱える課題や住民ニーズに対応するため地域を区分し、計画的な整備を図ります。



洞戸・板取・武芸川北部地域※

『自然や文化との共生交流ゾーン』

整備方針

市民に豊かな自然環境を提供するレクリエーション機能の充実と、新市の観光・交流拠点の充実を図ります。また、人と自然が共生する住環境を整備し、郷土文化が薫る暮らしづくりを推進します。

豊かな水と緑に恵まれた自然環境を整備・保全するとともに、雪害などの自然災害に強い体制を確立し、人と自然が共生できる豊かな地域をつくります。

また、自然環境の魅力を発信し、温泉資源・健康づくり・イベント・アウトドアを媒体とした体験型・滞在型観光の基盤を充実することによって、多くの人が往来するレクリエーション・憩いの拠点地域として整備を推進します。

※関・武芸川南部地域

※洞戸・板取・武芸川北部地域

※武儀・上之保地域

合併前の関市及び武芸川町寺尾地区以外を指す。

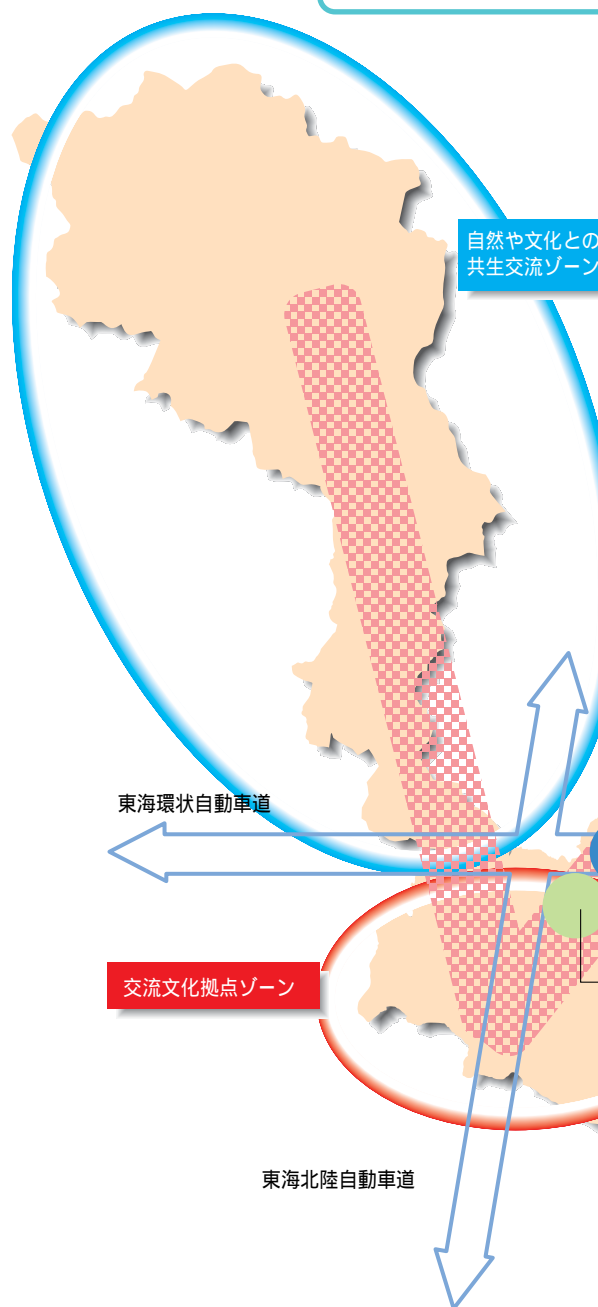
合併前の洞戸村・板取村及び武芸川町寺尾地区を指す。

合併前の武儀町及び上之保村を指す。

新市の将来像

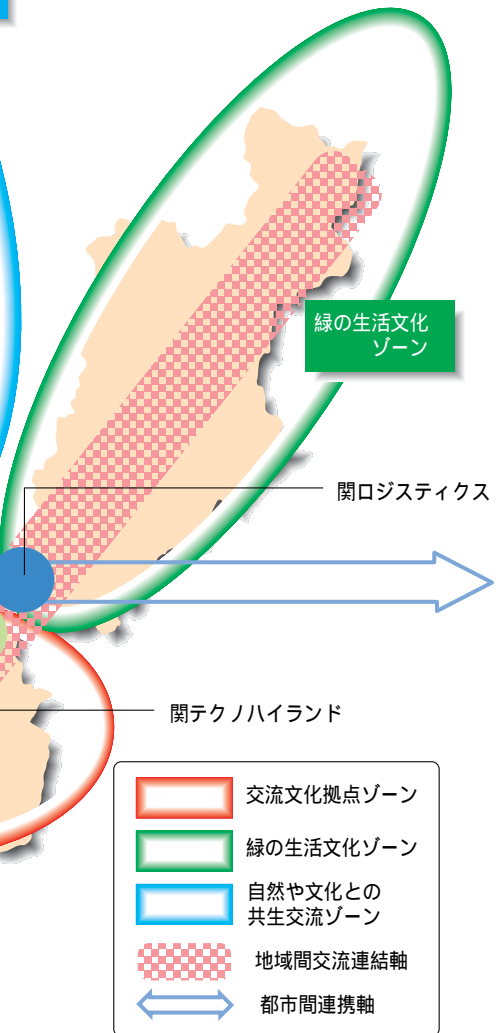
水と緑

～ときめき・暮らし～



象の交流文化都市

きらめき・いきいき・せきし〜



武儀・上之保地域※

『緑の生活文化ゾーン』

整備
方針

恵まれた自然・緑を活かした居住空間の整備と文化教育機能の充実を図ります。

自然と教育を結びつけることにより、高度な居住空間の創造を進めるとともに、質の高い教育体系を構築し、豊かな人材を育むまちづくりを推進します。

また、高付加価値の農業体制の確立や農業教育先進地としての機能充実を図るとともに、住宅産業や椎茸などの林産物を奨励し、地域固有の森林資源を活用した産業を育成します。



関・武芸川南部地域※

『交流文化拠点ゾーン』

整備
方針

新市の経済・生活拠点として、地域の原動力や活力を生み出す核的機能の充実を図り、総合的な都市機能を有したまちづくりを行います。

新市を支える経済・産業基盤の集積地であり、新しい産業と伝統産業が活きる複合的な産業文化地域を構築します。

また、多くの市民が安心して働くことができ、専門医療や複合的な商業施設など高度な住民サービスを提供する生活拠点地域として、新市の核的機能の充実を図り、新市全体の活力を創造する施策を展開します。